

## 1. <施策の概要>

基本理念	次世代を担う豊かな心と創造力を育む教育環境のまちづくり	統括課	教育部 生涯学習課
基本方針	生涯学習		
施策名	体育振興	関連課	
方針・目標等	◆いつでも、どこでも、だれでもが気軽にスポーツに親しめるよう、各種事業を実施し、スポーツ振興を図っていく。		
実施内容	◆ジュニアスポーツ教室、中高年向けスポーツ教室、スポーツ体験デー、むくのきセンターアリーナ一般開放、夏休み小学校プール一般開放など。 ◆体育指導委員会、NPO法人精華町体育協会等との協働による、町民体育大会、精華マラソン、スポーツサンデーなど。		

## 2. <指標の設定>

重点	指標名	単位	他団体比較		算式・引用等			
			団体名	実績/年度				
①	○ スポーツ施設利用者数	名	本津川市	1,136,465	21	統計資料		
②	○ スポーツ事業等参加者数	名	本津川市	5,179	21	統計資料		
③	スポーツクラブ会員数	名	本津川市	3,717	21	町登録者数		
④								
⑤								
			H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(試算)	H25(試算)
①	目標		172,000	179,000	181,000	183,000	184,000	185,000
	実績		172,459	179,806	181,785	185,000		
②	目標		11,000	13,000	17,500	18,500	18,600	18,600
	実績		11,647	16,060	13,397	13,854		
③	目標		2,300	2,400	2,500	2,600	2,700	2,800
	実績		2,476	2,535	2,772	2,888		
④	目標							
	実績							
⑤	目標							
	実績							

### 3-1. <指標から読み取れる成果と課題>

・体育指導委員によるスポーツ体験デー、むくのきセンターアリーナの一般開放の実施、子ども会や地域団体へのスポーツ指導などによる活動や、体育協会の各種事業、スポーツ教室等の充実によりスポーツ事業等の参加者が徐々に増えるなどの成果は出ている。 ・各スポーツ施設を使用させていただくにあたって、登録団体の利便性の向上を目的に日程調整会議を前半期分と後半期分の年2回開催し、定期的な利用促進を図ることにより、スポーツに関する関心を引き出し、スポーツをする機会の提供を図ることができた。今後は施設の稼働率の上昇を目指したい。 ・町民が日常生活のなかにスポーツを取り入れ、健康でいきいきとしたスポーツライフを実現していただくために、スポーツ事業等への参加を促す啓発活動に力を注ぐ。

### 3-2. <住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点>

・各種スポーツ事業や教室の実施にあたっては、より一層、住民のニーズを把握していく必要がある。  
 ・スポーツ振興の核となる高い資質を持った指導者の育成、発掘が課題である。  
 ・町民が身近にスポーツに親しめるよう、総合型地域スポーツクラブの創設も念頭に置きながら、その基盤となる各小学校区単位の体育振興会の組織化に向け、地域での指導者の発掘など、関係団体と連携を図りながら進めていく必要がある。

#### 4-1. <施策を構成する事業>

重点	部門 ／事業名 ／種別／決算書説明頁	事業費(人件費含む)／事業費のみ／事業費一財 <単位：千円>					
		H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(実績)	H24(予算)	H25(試算)
1	生涯学習課	-	3,341	3,954	2,905	3,363	3,402
	生涯スポーツ振興事業	2,354	2,117	2,380	2,353	2,811	2,850
	一般事業 259	-	1,687	2,072	1,955	2,385	2,400
2	生涯学習課	-	11,786	11,735	11,738	11,738	11,738
	体育協会助成事業	10,560	10,560	10,560	10,560	10,560	10,560
	一般事業 259	-	10,560	10,560	10,560	10,560	10,560
3	生涯学習課	-	25,501	30,968	35,215	37,498	37,849
	町立体育館維持管理	25,228	23,471	28,596	32,866	35,149	35,500
	一般事業 259	-	11,390	16,293	20,956	27,062	27,500
4	生涯学習課	-	1,604	1,565	1,370	1,346	1,352
	体育指導委員会運営事業	790	784	789	818	794	800
	一般事業 257	-	784	789	818	794	800
5	生涯学習課	-	1,670	1,214	864	993	994
	社会体育運営事業	460	446	438	390	519	520
	一般事業 257	-	446	438	390	519	520
6	生涯学習課	-	11,489	6,621	4,358	4,220	4,286
	体育施設運営事務	5,898	9,861	5,446	3,572	3,434	3,500
	一般事業 259	-	9,861	5,446	3,572	3,434	3,500
7	生涯学習課	-	9,267	9,935	8,082	11,353	11,448
	体育施設維持管理事業	7,329	7,237	7,963	5,734	9,005	9,100
	一般事業 261	-	4,209	4,938	2,840	3,705	3,800
8	生涯学習課	-	-	-	6,472	-	-
	体育施設整備事業(きめ細かな交付金)(繰越明許)	-	-	-	4,905	-	-
	投資的事業 261	-	-	-	4,905	-	-
9	生涯学習課	-	1,869	1,747	2,422	2,630	2,667
	学校開放維持管理事業	999	1,049	971	855	1,063	1,100
	一般事業 261	-	1,049	971	855	0	0
10							

#### 4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・各種スポーツ教室の開催や、NPO法人精華町体育協会との協働によるスポーツ事業の開催など、町民にスポーツ活動の場を提供することができた。 ・スポーツ事業等の開催の情報提供(「広報誌『華創』」やホームページ掲載等)を積極的に進めることにより、施設利用の促進や参加者の増加が図ることができた。 ・むくのきセンターの窓口業務を体育協会へ委託することにより、傘下の団体の施設に対する意識変化と、より質の高い住民サービスが実現してきた。 ・学校施設の使用料について、利用者が利用しやすい体制とする為、時間利用設定に改めた。 ・スポーツ施設の整備、改修を計画的に進め、町民が快適に利用できる環境を整える必要がある。

#### 5. <施策の今後の方向性>

・生涯スポーツの振興については、住民ニーズに応じた事業となるよう、スポーツ推進委員会や関係団体等を通じてニーズの把握に努め、より地域に根ざした取組を進める。  
 ・競技スポーツの振興については、NPO法人精華町体育協会等関係団体を通じて各種スポーツ事業や教室を実施し競技人口の拡大と、本町の競技スポーツの底上げを図る。  
 ・各種スポーツ事業や教室における関係機関や関係団体などとの連携の中から、指導者を発掘していく。  
 ・むくのきセンター及び体育施設の管理運営方法について、25年度の指定管理者制度の導入を目指した取り組みを進める。